

6,220万円計上



<市営住宅イメージ図>

合併11年目スタート

自主財源確保に引き続き課題

平成27年度の一般会計当初予算は、対前年比で0・7%増、1億4,780万円増となった。

歳出の主なものとしては、○資源磨き構想策定事業、○ふるさと納税推進事業、○市民活動センター管理運営事業、○公施設等総合管理計画策定事業、○通知カード・個人番号カード交付事業、○生活困窮者対策事業、○青年就農給付金給付事業、○多面的機能支払交付金事業、○市営住宅建替事業、○まちなか市民交流プラザ等整備事業、○防災機能強化事業、○放課後児童クラブ建設事業、○放課後児童健全育成事業、○三日月体育館改修事業などを計上している。

歳入について、昨年度までとは構造が変化している。昨年度、歳入の14%を占めていた市債が

8・4%に減少し、その一方で、昨年度大きく注目された、ふるさと納税による寄附金が0・1%から3・5%と大幅に増えている。しかし、ふるさと納税は安定的な収入とは言えず、そもそも既存事業のための財源として良いのかという議論もあり、自主財源確保という大きな課題は解決していない。

平成27年第1回定例会は、3月2日に招集され、3月20日まで開催された。全部で44件の議案が提出され、その中で、26年度補正予算関連7件、27年度当初予算関連8件、条例関連25件、委員

候補者の推薦1件となっている。

中国海塩県との交流事業の修正案可決

議案の、「小城市一般会計予算」の中で、中国海塩県との交流事業費を減額する修正動議が議員から出され、修正案が可決された。

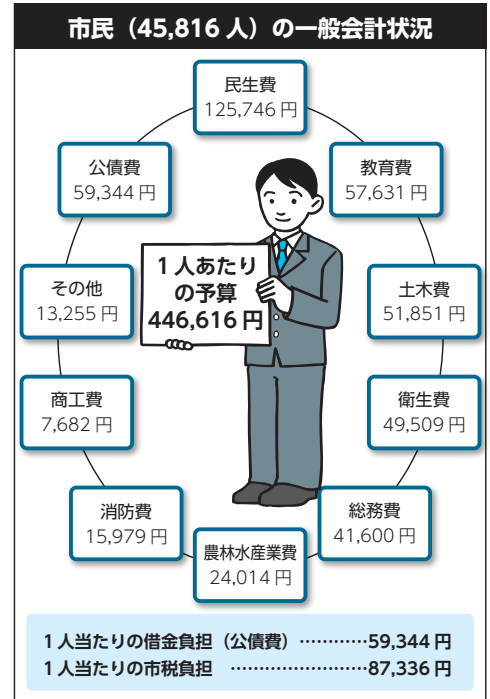
修正案賛成者からは、「制度設計ができていない」、「答弁に一貫性がない」、「公式訪問なら全員の旅費を公費負担すべき」との発言があった。その後、原案賛成者の発言もあったが、修正案は賛成多数で可決された。尚、同事業以外の予算については、原案のまま可決された。

平成27年度当初一般会計 204 億

平成27年度当初予算

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	204億6,220万円	0.7%増
特別会計	93億1,082万円	8.0%増
授産場特別会計	2,566万円	0.2%減
簡易水道特別会計	825万円	25%増
下水道特別会計	28億3,108万円	2.4%増
国民健康保険特別会計	59億5,901万円	11.7%増
後期高齢者医療特別会計	4億8,680万円	0.8%減

企業会計	予算額	前年度比
水道事業会計	4億7,138万円	24.6%減
病院事業会計	13億8,045万円	18.7%減



※人口は平成27年3月31日現在
※端数処理のため合計額が異なります

